平成26年 1月1日（水）

ふくおか市 和白干がたクリーン作せん

和白干がた新聞

発行しゃ
西南学いん小学校 二年
ちんかいじ

ぼくは、和白干がたのそうじに行きました。

はじまりは、ふくおか市のまもるーむであったカブトがニのかんさつ会にさんかしたからです。ふくおか市では和白干がたに生そくしていることをしりました。それで和白干がたはどんなところかなとおもって、和白干がたクリーン作せんにいってみました。

カブトがニってどんな生きもの？

①全長 オス50cm メス60cm 体じゅう3kg ほく

②生そく地：干がたのどろのたまった海ていに生そくする。

③生きているか石：2おく年もの間、形をかえずに生きている。

④食べもの：小さい時はび生ぶつ 大きい時はゴカイや貝るい

⑤生たい：夏にたまごをうみ、たまごは数ヶ月でう化し、十何回のだっぴをして大人になる。夜間のまんなう時にもっとも活どうする。

川などからながれた土砂がたまった広く平たんな海がん。そのためチヅルやリンなどを多くふくんでいるうえほうふでプランクトンなどがごみをぶんかいして海をじょう化している。たくさんの生きものがすんでいるので、わたり鳥がえっ冬すする大切な場しょ。

〈ひろったごみ〉
- 海そう
- あきかん ペットボトル
- がい国からながれついたごみ

米つきガニのす穴 →

〈まとめ〉
干がたには、たくさんの生きものがすんでいて、ごみなどをぶんかいしている大切な場しょです。ぼくたちは、いつまでも干がたを大切にまもっていくぎむがあることにきづきました。

←ほそうみみな

全国銀行協会、朝日小学生新聞、朝日新聞社